

「警察署の機能強化に向けて」（素案）に関する意見募集の実施結果

1 意見募集の期間及び結果

募集期間	平成29年6月16日（金）～7月18日（火）
意見数	16件（10人）

2 ご意見の要旨と県警察の考え方

(1) 「小規模警察署の管轄区域における警察力の強化」に関する部分について

	ご意見の要旨	県警察の考え方
1	<p>人口減少が進む中、合理化の観点から統合は仕方ないが、警察署が分庁舎となり、警察官が減ることで、犯罪や交通事故の増加による治安悪化が不安である。</p> <p>パトロールや事件捜査に対しては、これまで以上に適切な対応をお願いします。</p>	<p>この度の統合後においても、分庁舎にはパトロール活動や事件・事故の発生時における初動対応を24時間行える体制を確保することとしております。</p> <p>また、事案対応に際しては、警察署長指揮の下、本署・分庁舎の区別無く、駐在所等と連携し事件・事故への初動対応を行うことで、分庁舎を含めた管轄区域における事案対応能力が強化されるものと考えております。</p>
2	<p>分庁舎は、組織構造を複雑化するだけであり、普通の交番で良いのではないか。</p>	<p>交番には、地域警察官が配置され、様々な警察事象に即応するための拠点として、パトロール活動や事件・事故への初動対応等を行っています。</p> <p>この度の統合に伴い設置する分庁舎には、地域警察官のほか、交通等の専務警察官を配置し、運転免許証の更新等をはじめとした事務の一部を行うこととしています。</p>
3	<p>道路や通信網が発達したので、警察署の統合は当然である。遅きに失した感がある。</p>	<p>県警察では、県内の各界の有識者を構成員とする「広島県警察の未来ビジョンを語る会」による意見集約結果を受け、「日本一安全・安心な広島県の実現」に向けて「広島県警察機能強化ビジョン」を策定しました。同ビジョンに基づく一施策としまして、警察署の機能強化に向けた検討を行ったものであり、地域住民の安全・安心を確保していくため、統合による警察力の強化を図ることとしました。</p>
4	<p>音戸警察署と因島警察署のほかは、今後とも変わらないのか。</p>	<p>その他の警察署につきましては、今後の人口推移、交通事情等の社会情勢や治安情勢の変化、施設の現状等を踏まえ、必要に応じ、警察の任務を能率的に遂行することができるような</p>

		管轄区域の在り方や施設配置の最適化について検討をして参ります。
5	町内会役員と緊密な連携を図り、地域住民の把握に努めてほしい。	小規模警察署の場合、事件・事故の捜査体制が手薄であるため、駐在所勤務員が捜査活動や被疑者の護送用務に従事することにより不在になりがちですが、警察署の統合により、駐在所勤務員が、警察署の各種応援勤務に従事する頻度が抑制されることとなります。このため、地域で活動する時間が増え、より地域に密接した警察活動が可能となると考えています。
6	道路使用許可や車庫証明、落し物等の事務を残してほしい。	音戸・因島の両分庁舎におきましても、運転免許の更新や車庫証明といった、地域住民に身近で関わりの深い業務を継続することで利便性の維持を図ることとしています。

(2) 「自治体行政区域と警察署管轄区域の整合」に関する部分について

	ご意見の要旨	県警察の考え方
1	大型団地等で不審者・不審車を見かける機会が多いため、夜間パトロールを強化してほしい。 自治体行政区域と警察署管轄区域の整合による強化は絶対必要である。	県警察では、警察署のパトカーや交番・駐在所勤務員を中心に、積極的なパトロールを実施し、犯罪の予防及び検挙を行っております。 夜間のパトロールにつきましても、引き続き積極的に行い、不審者・不審車の発見に努めるなど、地域の治安向上に努めて参ります。 また、地域住民の安全・安心の確保やサービスの提供等が円滑かつ迅速的確に行えるよう自治体行政区域と警察署管轄区域を整合させ、機能強化を図ります。
2	警察署は独立した行政機関であり、独自の目的があるため、自治体行政区域に配慮しつつも、治安維持に適切な管轄区域を定められるべきだと思ふ。	警察署の管轄区域は、警察の任務を能率的に遂行することができるように、他の官公署の管轄区域のほか、人口、交通、地理その他の事情を勘案して決定することと法令で定められております。 自治体行政区域と警察署管轄区域を整合させることで、災害発生時等における警察署と関係機関との連絡調整が強化されるほか、警察署の管轄区域がわかりやすくなり、警察署と地域住民・自治体との連携が強化されるものと考えています。 これらの点から、この度の改正案としたものです。
3	地域住民としては、便利な場所に警察	「警察署一区一署体制」により、災害発生時

	署がある方が良いわけであり、「警察署一区一署体制」の必要性を感じない。 広島駅構内の新幹線口(南区)が広島南警察署の管轄区域というのは距離的に無理がある。	等における警察署と関係機関との連絡調整が強化され、迅速的確な役割分担や適切な対応が確保されるほか、警察署の管轄区域がわかりやすいものとなり、警察署と地域住民・自治体との連携が強化されると考えています。 広島駅及びその周辺地域を、広島南警察署の管轄区域に移管した場合も、警察本部所属のパトカー等と連携するなどして、これまでどおり、迅速的確な事件・事故への対応はもとより、適切な住民サービスの提供を行って参ります。
4	一行政区全てを管轄するのであれば、警察署の位置については、管轄する行政区の中央部分に見直すべきである。	警察署の位置は、管轄区域内の住民の利用に最も便利であるように、他の官公署との連絡、交通、通信その他の事情を勘案して決定しています。
5	素案では、「災害発生時における迅速的確な役割分担や災害対応できないおそれがある」等と課題を挙げている中、広島南警察署は、少しの地震でも倒壊しそうな外観でありながらも何らかの措置を講じないのか。	平成29年3月16日に公表した『警察施設整備方針』に示しておりますとおり、広島南警察署については、耐震工事及び建て替えも含めて検討し、早期の実施を目指します。

(3) その他要望等

	ご意見の要旨	県警察の考え方
1	事件発生時、警察からの連絡等を通じて、防犯カメラ等の所有者や会員登録したスマートフォン使用者から画像や位置情報のデータが警察のクラウドに送信されるシステムを構築すれば、警察力の強化につながるのではないか。	防犯カメラは犯罪抑止や犯人特定等の捜査活動に極めて有効であり、安全・安心なまちづくりに大きく寄与しています。しかし、私人が収集した、個人情報を含む可能性のある情報を警察が取得することについては、プライバシー保護の観点等も踏まえ、その必要性等について検討する必要があると考えています。
2	区役所の出張所に合わせて、車庫証明、運転免許更新、道路使用許可等の手続きや許可証の発行ができる施設を設置してほしい。	運転免許更新や道路使用許可申請等の業務を行うためには、担当する職員の配置や専用機器、端末等を新たに設置する必要があり、これら行政サービスを行うための施設を区役所の出張所に合わせて設置することは、現状では困難であると考えております。

(注) お寄せいただいたご意見については、趣旨を損なわない程度に要約しております。

(注) 受理件数16件のうち3件は、素案に関係しない内容であるため、「ご意見の要旨」、「県警察の考え方」を示しておりません。

(注) 意見用紙に複数の意見が記入されているものについては、個別に分けて示しております。